

# SNSノウ



アイガの本社

ロールケーキ「堂島ロール」などの洋菓子製造を手掛けるモンシエール(本社大阪府)は7日、名古屋市中区伏見に新業態となるパティスリー&オープンテラスカフェ「Rivage Moncher(リバーージュ モンシエール)」をオープンする。全国で初登場となる。

堂島ロールのクリームを

挟んだオムレット(1個税込み216円)やパウンド(円)、パフェ(同842円)や



きょうオープンする「リバーージュ モンシエール」

新作スイーツのオムレット

ツティー(同669円)やテラスが10席。営業時間は午前10時から午後9時まで。不定休。問い合わせは、リバーージュ モンシエール(電話052・446・7220)まで。

航空宇宙産業の設備投資に補助  
名古屋が受け付け  
名古屋市は、本年度「航空宇宙産業設備投資促進助

桜が舞い散る季節となりま 「嫌な感じ」というものは、したが、いかがお過ごしでしょうか。

ちょうど昨年の今頃、カンボジアの企業家23人が一週間にわたって来日され、交流の機会をいただきました。プロす。

## 着眼大局 着手小局

# 誓に求められる人間

◆ 14 ◆

グラムは、自動車工場や新聞社の見学、日本人企業家とのビジネス・ミーティング、日本文化体験、そして、花見です。中部国際空港でお迎えをしたときから、ゆっくりとした速度で物事が進んでいきます。しかし、それに対する

## 目的地に至る道中を楽しむ

# 幸せの価値考えるきっかけに

で到着する距離を、その2〜3倍の時間がかかって進むことも多々ありました。

4日ほどたった頃、気がついたことがあります。それは、同じ距離を歩くのにも日本人は「目的地に向かって一直線」ですが、カンボジアの皆さんは「目的地に至る道中

彼らは道中を楽しみ、お互いが伴侶、友人を大切に、心からその時間を大切に過ごしていました。

幸福について研究している米国の心理学者・チクセントミハイ氏は、「永続的な喜びと満足を感じている人たちは、活動の結果として得られ

【加藤滋樹・プレジデント ワンコミュニケーション・アナリスト】

(毎週土曜日に掲載)

たちは、風景だったり、モノだったり、その単体を被写体として写真に収めてしまいがちですが、カンボジアの皆さまは必ずそこに、人が入っています。

その後の訪問や道中においても、写真撮影は続きます。日本人の私たちが歩いて5分

も楽しんでる」ということ。確かに私たちはカンボジアの人たちよりも進んだ技術を持ち、経済的に豊かで、沢山の移動をこなしているか、アポイントをこなしているか、私たちが自先の何かにとらわれすぎていて、大切なものを失ってはいないでしょうか。困難を乗り越えながら目的地に辿りつくことはもちろん重要ですが、その過程からも学ぶ